

さがみはら 市史編さんだより

発行：相模原市総務課市史編さん室

第3号 2001.10.31

資料整理・調査はじまる

市史続編の現代編刊行に向け、市史編さん室では、本格的に資料整理と調査に取りかかりました。9月中旬から3名、10月からさらに1名の資料整理員（アルバイト）を動員して、資料目録の作成に向け、資料1点1点についての内容調査と資料カード作成などの作業を進めています。

編さん室には、開室半年余りの間に、すでに多数の資料や図書が寄贈され、収集作業が進んでいますが、その中で最も多量の資料が、去る6月30日に、市内上溝にお住まいの今井テル氏からご寄贈いただいた、戦後相模原の公民館、スポーツ、郷土史関係の資料群です。量にして、ワンボックスの軽自動車2台分に及ぶこの一群の資料は、市立上溝公民館長や市陸上競技協会会長などの要職を歴任された、故・今井清氏が旧蔵されていたものです。資料の時代は、昭和20年代から平成10年に及び、戦後相模原における社会教育や社会体育の推移を知るために重要なものと言えます。この資料の一部には、戦前の青年団資料や戦後の生活改良運動資料なども含まれています。これまでに、1000点以上の整理を終えましたが、全体から見るとごく一部に過ぎず、最終的には1万点以上の資料点数に達する見込みです。

また、前号のたよりでもお伝えしましたが、庁内各課・機関、県内各自治体はもとより、全国各地の市町村史編さん室から市町村史や報告書をご寄贈いただいているほか、図書購入も進めた結果、図書資料もこれまでに2000冊ほどを収集することが出来ました。一般にご利用いただくことは出来ませんが、市史編さんのための参考資料として活用して行きます。

資料整理については、今後さらに、11月から2名のアルバイトを増員して、未整理状態となっている1500冊に及ぶ戦後公文書の詳細目録の作成に取りかかる計画です。



第 2 回 市 史 編 さん 審 議 会 を 開 催

9月21日、博物館大会議室において、第2回市史編さん審議会を開催しました。今回は、第1回目の諮問を受け、「相模原市史続編編さんの基本的な考え方について」を議題として2時間ほどの審議が行われました。

諮問の内容は、市史続編の編さん方針、刊行の内容と巻数、刊行の年次計画、組織体制などとなっています。当日の審議会では意見が活発に交わされ、具体的事項についてもいくつかの提案がなされました。編さんの基本方針としては、現『相模原市史』の刊行が終了してから30年にも満たないことなどから、『市史』を全面的に書き直すというのではなく、現『市史』を補完するような内容とすることなどが共通認識として確認されました。

このため、具体的記述内容については、現『市史』では記述の極めて少ない、第二次大戦終結（昭和20年8月15日）以降の歴史的記述や、考古、民俗、自然などの領域について刊行を検討するという方向が提示されました。戦後相模原の歴史を考える上で、軍都計画や基地問題については正面から取り組む必要があるとの意見も出されました。また、子どもや障害者への配慮はもとより、国際化・高齢化が進む社会の中で、在日外国人や高齢者にも配慮し、生活に視点を置いた、親しまれ、読まれる市史づくりの重要性が取り上げられました。そして何よりも、これらの実現のために、しっかりと資料収集と資料調査の重要性が指摘されました。

市史続編刊行事業は、相模原市市制施行50周年記念事業として位置付けられているため、第1巻目の刊行は、その50周年記念日にあたる平成16年11月20日が予定されて

います。記念事業であることや時間的制約の問題から、第1巻目は写真集的なものとしてはどうかとの意見も出され、写真資料に重点を置いた資料収集が急がれます。

市史続編編さんの基本的な考え方については、今後も引続き審議が行われ、3回目、4回目と会議を重ねる予定です。

前 市 史 編 集 室 の 写 真 か ら

昭和30年代から40年代にかけて編さんされた『相模原市史』は、当時の庶務課（現総務課）市史編集室で刊行事務が進められました。現在の市史編さん室には、当時の事務局が撮影した市内の写真が多数引継がれています。

これらの写真は、幸いにもほとんどがネガごと保管されているため、編さん室では当時の写真をキャビネサイズに引伸ばし、撮影時期や場所を確定して、資料化する作

業を進めています。撮影の時期は、昭和 39 年から 41 年のものが中心で、その総数は 1000 コマ近くに上ります。

右の写真は、『相模原市史』第 1 巻が刊行された昭和 39 年に撮影された鹿沼です。淵野辺駅南口と国道 16 号の間に位置し、現在、この一帯は鹿沼公園となっています。



37 年前の風景ですが、現在では、ほとんど想像も出来ないほど現地様子は変わっています。ちなみに、この年は、東海道新幹線や首都高速道路が開通し、東京オリンピックが開催され、日本は高度経済成長のただ中にありました。当時の相模原市の人口は 14 万人余りで、ちょうど人口急増を迎えた時期でした。

市史編さん室では、このような昔の写真を集めています。お心当たりの方はご一報ください。

..... 私たちが資料整理を進めています。その 1.....

● 五味ゆかり（ごみ・ゆかり）

アルバイトでお世話になります五味と申します。市民の皆さま、そしてこれから生まれてくる市民の方々のために、精一杯お手伝いをさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 野坂尊子（のさか・たかこ）

貴重な資料に直接ふれる機会に恵まれたことを大変幸せに思っております。編さん室の方々にご指導いただきながら、相模原市のことをたくさん勉強させていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 園山千里（そのやま・せんり）

相模原市に住んですでに 20 年ほど経ちますが、あまりにも自分の街を知らないことに気がきました。良い機会を与えられた今、相模原の精通を目指し、さらに相模原市を好きになりたいです。



編さん室の動き(8~10月)

月	日	内 容
8	1	田名向原遺跡・勝坂遺跡視察
	7	職員定数ヒアリング(本庁)
	8	道路整備課より資料受け入れ(軍都区画整理図面)
	9	横浜市史編集室へ視察調査
	14	田名向原遺跡発掘状況の視察
	17	秘書課より資料受け入れ(図書類)
	31	「市史編さんだより」第2号発行 市史資料引継ぎに関する打ち合わせ(博物館)
9	4	市史編さん打ち合わせ(若松小学校)
	18	資料整理作業開始(五味・平塚・野坂資料整理員)
	21	第2回「市史編さん審議会」開催(博物館)
	28	来年度予算について財務課ヒアリング(本庁)
10	4	神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会研究会出席(山北町、浜田学芸員)
	12	財務担当者会議(本庁)
	16	博物館消防訓練に参加
	19	勝坂遺跡発掘状況の視察
	31	「市史編さんだより」第3号発行 海老名市公民館歴史講座講師派遣(浜田学芸員)

- ◇ 産休中の増島主任に代わり、10月1日から吉岡臨時主事補が配属されました。
増島さんがお休みの間、代わりに勤務させていただくことになった吉岡です。これを機会に相模原のことをもっと勉強したいと思います。微力ではありますが、がんばりますので、よろしくお願いします。

「さがみはら市史編さんだより」第3号

発行 平成13年10月31日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-15 市立博物館内

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8061